

1000年に一度の大雨を想定した 吉田町洪水ハザードマップ

ハザードマップで自宅と避難先が
地図のどこにあるか確認して、
印をつけてみましょう。



各種ハザードマップの作成、公表
町では、洪水ハザードマップの他に、津波ハザードマップ、
地震防災ガイドブック、土砂災害ハザードマップを町HPで
公開していますので、合わせてご確認ください。

「吉田町洪水ハザードマップ」は、大井川、湯日川、坂口谷川が想定最大規模の降雨(1000年に
一度程度の確率で起こる降雨)により堤防が壊れたり、水があふれ出たりした際に想定される被害
を示したものです。

このハザードマップを参考に自宅や通学先・通勤先などにおいて想定される災害状況を認識し、避
難経路や避難先を確認してください。また、家庭や学校、事業所、地域における防災・減災活動、訓練等
にご活用ください。

ハザードマップ 吉田町防災課 〒421-0395 静岡県榛原郡吉田町住吉87番地
お問い合わせ先 電話番号/0548-33-2164 FAX/0548-32-6121

吉田町 作成 令和3年3月
修正 令和4年5月

5段階の警戒レベルと防災気象情報

| 警戒レベル | 住民のみなさんが取るべき行動 | 吉田町からの情報 | 気象庁等の情報 | |
|-------|--|---|------------------|--------------------------|
| 5 | 災害がすでに発生しており、命を守るための最善の行動をとる | 緊急安全確保 ※町が災害の状況を確認に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。 | 大雨特別警報 | 危険度分布 氾濫発生情報 |
| 4 | 危険度分布の「極めて危険」(濃い紫)出現時には、道路冠水や土砂崩れにより、すでに避難が困難となっているおそれがあり、この状況になる前に避難を完了しておく 速やかに避難 危険な区域の外や少しでも安全な場所に速やかに避難 | 避難指示 | 土砂災害警戒情報 高潮警報 | 極めて危険 非常に危険 氾濫危険情報 |
| 3 | 土砂災害警戒区域や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いにお住まいの方は避難準備が整い次第避難行動開始、高齢者等の方は速やかに避難 | 高齢者等避難 | 大雨警報 洪水警報 | 警戒(警報級) 氾濫警戒情報 |
| 2 | ハザードマップ等により、災害が想定される区域や避難所、避難経路等を確認し避難行動の準備 | | 大雨・洪水高潮注意報 | 注意(注意報級) 氾濫注意情報 |
| 1 | 災害への心構えを高める | | 早期注意情報 | |

情報入手先

Push 型の情報

行政から住民のみなさんに伝える情報です。

- 同報無線(町内各地の子局から音声放送) サイレンやアナウンスに注意し、附近所でお互いに声を掛け合うよう心がけよう。
- 防災ラジオ(1世帯1台まで防災課で無償配布) 同報無線の放送内容を聞くことができます。
- 吉田町公式LINE @yoshida_town 防災情報、町の各種情報、同報無線などで提供された内容がLINE経由で届きます。
- よした防災メール 緊急情報などを登録したメールアドレスに配信するサービスです。事前に登録が必要です。メール受信に伴うパケット通信料が発生します。
- 緊急速報メール、エリアメール 一帯のエリアにある携帯電話に自動的に情報を配信するサービスです。基本的に手動操作は不要です。
- Yahoo! 防災速報 このアプリは、通知対象地域を吉田町として登録するか、位置情報の利用を「オン」にすることで、町が発信する防災緊急情報を受信できます。

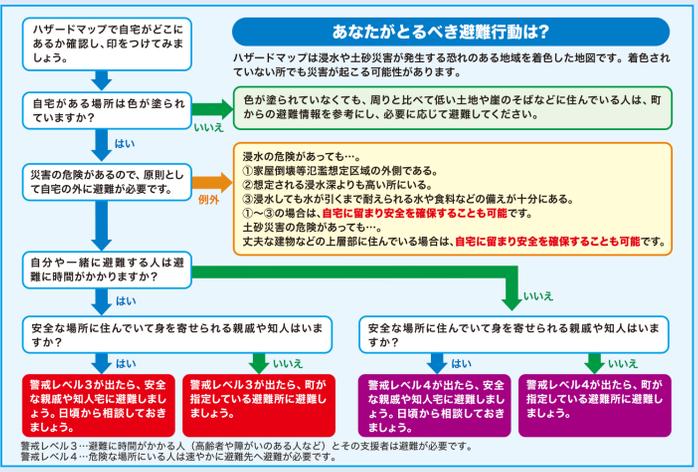
Pull 型の情報

住民のみなさんが自分で入手する情報です。

- 同報無線電話応答サービス 同報無線の放送内容を電話で聞くことができます。TEL: 33-2777 (通話料がかかります)
- サイレンリーダー 静岡県土木防災総合情報「SIPOS-RADER」 静岡県内の最新の河川の水位、雨量、防災、気象情報を確認できます。
- 国土交通省 川の防災情報 雨や川の水位の状況などが、インターネットを通してリアルタイムで配信される。いつでもどこでも避難に必要な情報が確認できます。
- 静岡県気象台 最新の気象情報、注意報・警報などが確認できます。
- NHK データ放送(テレビレモンのdボタン) 注意報・警報などの情報が確認できます。また、災害情報や避難行動情報、交通やライフラインについての情報も確認できます。

住民のみなさん

避難行動判定フロー



風水害時の避難行動

■家族の連絡先などを記載しましょう

| 名 | 前 | 電話番号 | 備考 |
|---|---|------|----|
| | | | |
| | | | |

■ハザードマップを見て自宅のある場所を確認しましょう
自宅は洪水浸水想定区域内にあるか ある ない 自宅は家屋倒壊等氾濫想定区域内にあるか ある ない
想定される浸水深は m 浸水継続時間は 時間
自宅は土砂災害警戒区域内にあるか ある ない 自宅は土砂災害特別警戒区域内にあるか ある ない
自宅の近くに内水氾濫による過去の浸水実績箇所はあるか ある ない

■日頃から、避難行動を考えましょう
わが家は自宅に留まり安全を確保します
わが家は警戒レベル _____ が出たら...
安全な _____ の家に避難します(親戚や知人宅を書きましよう)
町が指定した _____ に避難します(避難所の名称を書きましよう)

※避難行動判定フローを参考に、避難行動について家族で話し合ってください

| 警戒レベル | 吉田町の情報 | 気象庁等の情報 | わが家の行動 |
|-------|---------|---|--|
| 1 | | ■早期注意情報 | ●雨風が強くなる時期にやっておくべきことを書いておきましょう |
| 2 | ■高齢者等避難 | ■大雨注意報 ■高潮注意報 ■洪水注意報 ■危険度分布「注意(注意報級)」 ■氾濫注意情報 | ●避難行動を行う際の注意事項を書いておきましょう |
| 3 | ■避難指示 | ■大雨警報 ■洪水警報 ■危険度分布「警戒(警報級)」 ■氾濫警戒情報 | |
| 4 | | ■土砂災害警戒情報 ■高潮警報 ■危険度分布「極めて危険」 ■危険度分布「極めて危険」 ■氾濫危険情報 | |
| 5 | ■緊急安全確保 | ■大雨特別警報 ■氾濫発生情報 | もしも逃げ遅れたら、命を守るための最善の行動を取ってください! 外に出ることが危険な場合は、その時点で建物の内側の安全な場所を身を守ってください! |

事前の備え

自宅周りの確認

屋根 アンテナ、トタン、瓦は固定されていますか?

窓 窓枠、雨戸のがたつきはありませんか?

雨どい 継ぎ目ははずれや塗装のはがれ、腐りはありますか?

家財 濡れて困るものは、あらかじめ高い場所へ移動していますか?

排水溝 排水溝にごみや土砂が詰まっていますか?

外壁 壁に亀裂はありませんか?

その他 庭木には添え木をしていますか?
ブロック塀はくずれそうにないですか?
プロパンガスのボンベは錆でしっかり固定していますか?

非常持出し品・備蓄品

1)非常持出し品(例)
携帯ラジオ 懐中電灯・予備の乾電池 飲料水 スプーン・はし・カップ
笛(ホイッスル) 非常食(3日分) ナイフ ティッシュペーパー・トイレトペーパー
ライター・マッチ 簡易トイレ 生理用品 手ぶくる
マスク 下着・くつ下 救急薬品・常備薬 現金(硬貨も)

2)備蓄品(例)
家庭で自活するためにも、飲料水、食料とも1週間以上の備蓄をお願いします。
1週間の目安(1人分) 飲料水 1日3ℓ×7日=21ℓ 食料 3食×7日=21食
ローリングストック法(自己備蓄) 日常使う食料や非常用の食料品を、消費しながら備蓄していく方法。また、古いものから先を使うように収納を工夫すると上手に循環できます。飲料水などは、備蓄していきます。
食料品の一例 レトルト食品、缶詰、インスタントラーメン、パスタ類、調味料、乾物、根菜類(常温で保存できる野菜)、フリーズドライの野菜、ドライフルーツなど

3)あると便利な物
ウエットティッシュ モバイルバッテリー ラップ類 携帯用カイロ 予備の眼鏡
テント 予備の入れ歯 バイク・自転車 補聴器 パール・ジャッキ

避難

避難の心得

1 安全な避難路の確認を
避難先までの経路(避難路)は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に進行できるかを確認しておきましょう。

2 非常持出し品の事前準備を
避難するときの荷物は必要最低限とし、事前に準備しておきましょう。また、避難するときは、動きやすい服装で、2人以上での行動を心がけましょう。

3 正確な情報収集と自主的な避難を
ラジオ・テレビ・インターネットで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

4 避難の呼びかけに注意を
危険が迫ったときには、町役場や消防団から避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合は、速やかに避難してください。

5 高齢者などの避難に協力を
高齢者や子供、障がいのある人は、早めの避難が必要です。近所の高齢者や子供、障がいのある人などの避難に協力しましょう。

6 自動車での避難は控えて
自動車での避難は緊急車両の通行の妨げになりますので、特別な場合を除きやめましょう。また、水防活動の妨げになりますので、堤防や道路の自動車やバイクを放置しないようにしましょう。

7 ペットを同行避難する場合
ペットを同行避難する場合は、事前に同行避難のために必要なしつけや健康管理を行うとともに、ペットの避難用品や備蓄品を確保しておくことが重要です。また、どこかの場所へ同行避難が可能なのか、事前に確認しておきましょう。

8 ハザードマップを活用した訓練を
万一の事態に遭遇しても、落ち着いて適切な避難行動ができるよう、ハザードマップを活用した訓練を実施しましょう。

避難生活

避難生活に備えて必要な物資を確保しよう
自宅待機または知人宅へ避難する場合
災害発生時でも、自宅の安全が十分に確保できれば在宅を続けることが可能です。しかし、災害発生時には建物が無事であっても、ライフラインが停止し、食料や日用品の調達も困難になることが予想されます。道路の復旧や救援物資が届くまでの間、最低でも3日分の食料が必要になります。飲料水や缶詰、レトルト食品などを備えておきましょう。

避難所へ避難する場合
町の備蓄品に限りがあることや使い回しを避ける必要があることから、可能な限り日用品を持参してください。また多くの人が避難することが想定されるので、感染症防止対策に協力をお願いします。

アルコール除菌なども持参ください

避難所を利用するときは...
●受付時に体温測定、手指消毒を行い、健康状態チェックシートと避難者カードを記入してください。(発熱など体調不良の人は別のスペースでの避難となります)
●避難所内ではマスクを着用し、原則として避難者(または世帯)ごと約2メートルの間隔を空けてください。
●咳エチケット、こまめな手洗いを徹底してください。
●地震や津波などの大規模災害時だけでなく、一時的な大雨や台風来時などの避難の際にも、マスクや食料、座布団(敷物)、毛布、モバイルバッテリーなど必要となるものはできる限り持参してください。

健康状態チェックシート
感染症患者の濃厚接触者でないかの確認や、体温、風邪などの症状がないかを記入します。

避難者カード
避難所での代表者や住所、家族の状況などを記入します。

洪水浸水想定区域 (浸水継続時間)

下の図は、裏面に掲載した想定最大規模の降雨による浸水が発生した際に、浸水深が0.5mを越えてから下回るまでの時間を示したものです。左の絵のように、浸水が長期にわたると、立退き避難せず自宅の2階などに待避した場合、電気・ガス・水道などのライフラインが使えなくなったり、備蓄していても水や食料などがなくなる恐れがあります。

浸水継続時間
24時間以上72時間未満
12時間以上24時間未満
12時間未満

この図は、3河川(大井川、湯日川、坂口谷川)の浸水継続時間を重ね合わせ、最大の浸水継続時間を表示しています。各河川の詳細図はこちらをご覧ください。

大井川
湯日川
坂口谷川

0m 1,000m 2,000m

洪水浸水想定区域 (計画規模)

この図は、想定最大規模降雨よりも降雨量は少ないものの、発生頻度の高い降雨(概ね50~100年に一度程度)による洪水浸水想定区域を示したものです。

浸水深(計画規模)
10.0m~20.0m未満
5.0m~10.0m未満
3.0m~5.0m未満
0.5m~3.0m未満
0.5m未満

| | 大井川 | 湯日川 | 坂口谷川 |
|--------------|-----------------------------------|-------------------|------------------|
| 作成主体 | 国土交通省中部地方整備局静岡河川事務所 | 静岡県 | 静岡県 |
| 指定年月日 | 令和元年6月21日 | 平成31年3月15日 | 平成31年3月15日 |
| 指定の前記となる降雨条件 | 大井川流域の2日間の総雨量551mm 概ね100年に一度程度 | 湯日川流域の1時間雨量88.8mm | 坂口谷川流域の1時間雨量85mm |

この図は、3河川(大井川、湯日川、坂口谷川)の計画規模の降雨により浸水が想定される区域と浸水深を重ね合わせ、最大の浸水深を表示しています。各河川の詳細図はこちらをご覧ください。

大井川
湯日川
坂口谷川

0m 1,000m 2,000m